

# リンゴ褐斑病一次感染期の薬剤防除

園芸環境部

病害チーム

TEL:022-383-8125

## 研究の目的

リンゴの防除体系は、ボルドー体系から非ボルドー体系への移行が進んでおり、褐斑病の発生が顕在化してきています。発生を抑えるための有効な防除適期を調査しました。

## 研究成果

褐斑病の子のう胞子飛散は、5月中旬から6月中旬が盛期であり(特に降雨日に多い)、この時期が一次感染盛期であると推測されます(図1)。褐斑病を重点にした防除を行う場合は、この時期にオンリーワンフロアブルやデランフロアブルを組み入れると高い防除効果が認められます(図2)。オンリーワンフロアブルを子のう胞子の飛散盛期に組み入れた防除体系では秋期の発生を抑制できます(表1)。

### 利用上の注意点

オンリーワンフロアブルのようなEBI剤は耐性菌の出現を避けるため、年2回以内の使用としてください。

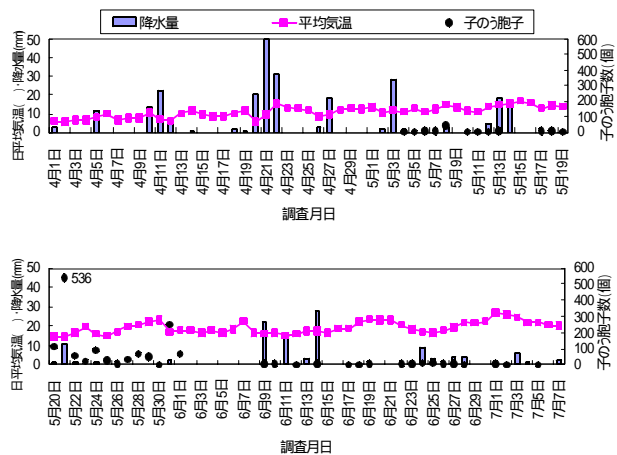
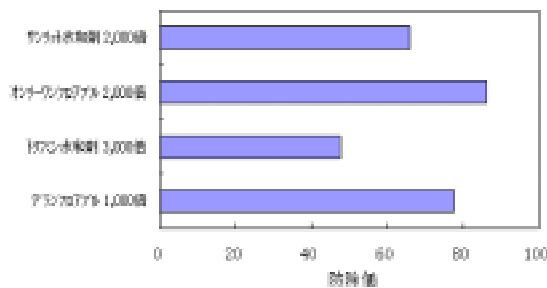


図1 リンゴ褐斑病の子のう胞子の飛散消長(平成12年)

図2 リンゴ褐斑病一次感染期における薬剤の防除効果 (平成19年)

注) 供試薬剤の散布は、5月15日、28日、6月8日、20日の計4回、その後は通常の防除をし、調査は9月14日に実施しました。防除価は数値が高いほど効果があることを示します。



表1 体系試験の防除暦及び褐斑病の発生状況(平成19年)

試験区	5月7日	5月21日	6月5日	6月20日	7月6日	7月27日	8月17日	発病葉率(%)
EBI区	フルーケ水	オンリーワンフロアブル(2,000)	アントロール類	ユニックスZ水	ワラル水	オニオン水和剤	ホリキャブタ	2.9
慣行区	和剤	パルノックスフロアブル(500)	粒水和剤	和剤(500)	和剤	水和剤	水和剤	10.4
無散布区	(800)	-	(500)		(1,000)		(1,000)	11.7

注1) ( )内の数字は希釈倍率 注2) 褐斑病子のう胞子の飛散最盛期は5月25日

## 普及等の見込

褐斑病多発園地での適用が有効です。また本病の防除は、従来の二次感染期における薬剤防除も重要であり、従来通りの薬剤散布も実施してください。

